

「デジタルと技術の融合を目指した考え方」

枝川智之

近年では、デジタルの進化により CAD/CAM を活用することで、ある程度の工程を効率よく品質を安定させることが出来るようになりました。しかし、デジタル技工がすべての工程で満足できるクオリティには至らず、臨床の経験値や技術力、また材料に対する知識が必要とされています。デジタル機器を活用し生産性を上げるには、機器の特性を把握して適切に活用することが重要である一方、扱う側の時間の無駄を省くことや、スタッフ間の連携を強化することでかなりの効率化になると考え「効率よく働く考え方」や、「スタッフの教育と育成」を考えたシステムを構築することが生産性向上になるのではないのでしょうか。今回の講演ではデジタル・経営・教育の分野を通して成果を変えるための「思考の習慣」を考え、将来の vision を見据える機会になればと思っています。